

アルミ生爪がお客様に選ばれる理由

その1. (鉄に比べて)柔らか〜い

・成形しやすい!

生爪の素材は主に S50C や S45C で比較的加工し易いものですが、成形する際は断続加工となり工具の刃先が欠損するなどのトラブルが生じやすく加工に時間がかかってしまいます。アルミ材であれば、そのようなトラブルも少なく、短時間で成形が可能です。

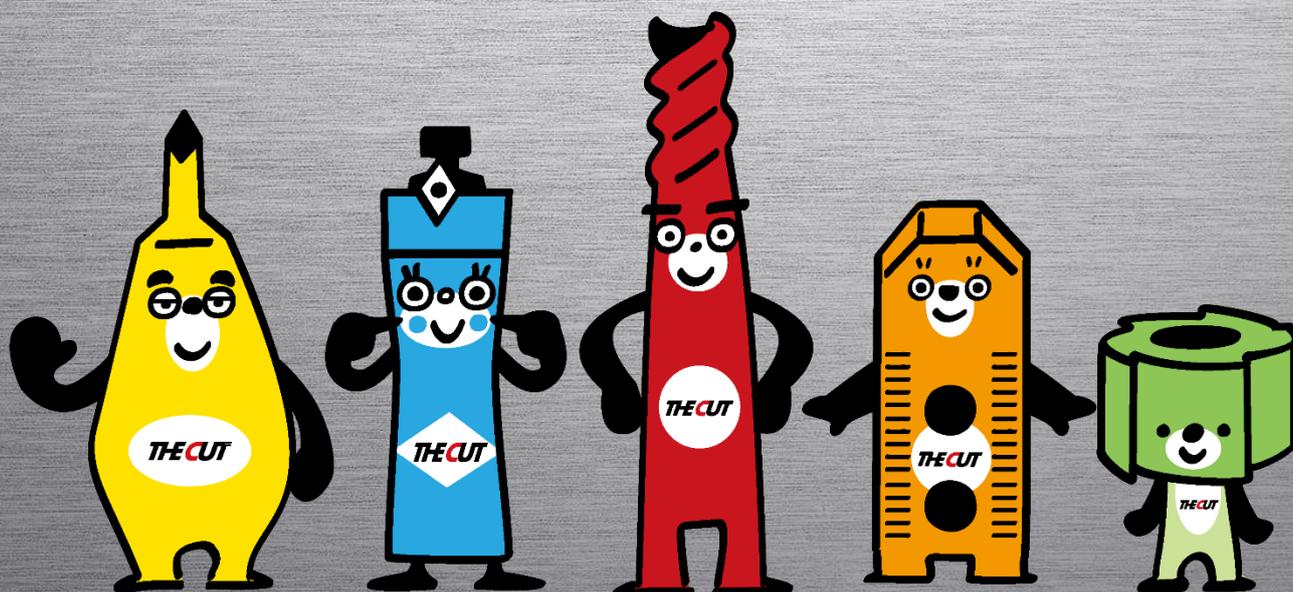
・被削材に傷がつき難い!

被削材がアルミや真鍮など鉄よりも柔らかい素材の場合、鉄の生爪に比べて傷つけにくく幅広い被削材に対応でき、把握時の傷防止に繋がります。

その2. (鉄に比べて)軽〜い

生爪の軽量化により、チャックへの脱着時の作業負担が軽減され、安全に作業が行えます。機械への負担も少なく主軸などの摩耗が軽減できる。

アルミ材の比重は鉄の 1/3 程度の為、回転数を上げてても遠心力によるチャックの開きを抑え被削材などがチャックから外れて飛散するなどの危険性も軽減できる。



ドリちゃん
得意技:穴あけ・面取り・ザグリ

シーちゃん
得意技:油圧ボート加工

ミルたん
得意技:溝加工

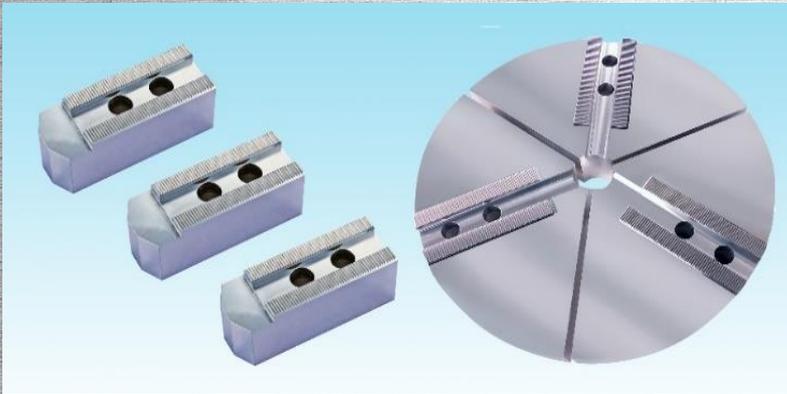
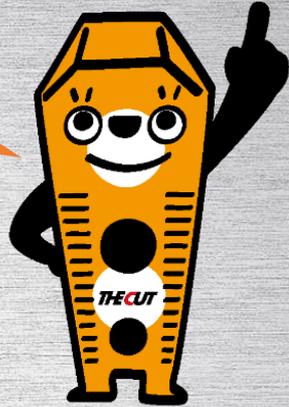
ジョーやん
得意技:旋削加工

カッタくん
得意技:フライス加工



Q:鉄の生爪に比べるとアルミ生爪は柔らかいとい
うことは変形しやすいのでは？

A:たしかにアルミの弾性係数(ヤング率)は鉄の約1/3程度で
変形し易いと言えますが、チャックで把握する力での変形量は
微小であり、また均等に変形するので芯がズれる可能性は
鉄の生爪とほぼ同等です。仮に変形して芯合わせで再成形
する場合でも鉄より容易に行えます。



THECUT アルミ生爪ラインアップ
・AL-H0(油圧、エアーチャック用)
・AL-B(油圧、エアーチャック用)
・AL-SBS(スクロールチャック用)
・AL-TKR円形生爪(油圧、スクロール用)
製品カタログはこちらのQRコードから

販売店